



南平小だより 1月号

学校の教育目標(キーワード)

◎かんがえる子 ○つよい子 ○やさしい子 ○くじけない子

校長 千葉 智弘

〒191-0041 日野市南平4-18-1 Tel(042)592-2021 Fax(042)592-2022

児童の学校での様子を
ぜひご覧ください！

学び続ける一年に

校長 千葉 智弘

新年あけましておめでとうございます。この1年が南平小学校の子供たち、保護者・地域の皆様にとりまして充実した年となりますようお祈り申し上げます。

今年の干支は「丙午(ひのえうま)」です。丙は太陽や明るさ、午は行動力やスピードを意味します。丙午はこの2つを合わせ、「勢いとエネルギーに満ちて活動的になる年」とされています。本校の子供たちにも勉強や興味ある事に張り切って取り組む1年にしてほしいと願っています。

さて、昨年の12月、本校では持久走記録会を行いました。走っている子供たちの様子を見てみると、1位を取ろう、一つでも順位を上げよう、順位よりも自分のペースで走って完走しよう等、自身の目標に応じた頑張り方をしていると感じました。私が小学生の頃の持久走を思い出しますと、1位をめざしてスタートダッシュ、あとは体力の続く限りひたすら粘るという走り方しか知りませんでしたので、自身の目標に合った取り組み方を選択し、実行する大切さを改めて感じました。

走ることの魅力の1つは「生涯スポーツ」であることが挙げられます。自分のペースで行え、必要な道具も多くなく、場所や時間に縛られにくいので続けやすいことが特徴です。本校近隣の浅川沿いの遊歩道では心地よさそうに走っている方々を多く見かけます。持久走記録会が子供たちにとって、走ることが楽しい、またやってみたいと思える機会になっていましたら嬉しいです。

生涯〇〇と言いますと、私は生涯勉強を心がけています。大人になっても学び続けることは自分を高めるうえでも大切ですし、何より新しい知識を得ることは新鮮なものです。最近、私が学び始めたことは「認知心理学」です。ある心理学者の先生とお話する機会があり、その方の著書を読み始めたことがきっかけでした。著書を拝見し、特に興味をもったことは、「『理解する』とはどういうことか」ということです。例えば、「花」という漢字を覚える時、何回も書いて覚えるという場合が多いのではないのでしょうか。しかし、認知心理学の観点では、「整理」と「意味づけ」が大切なのだそうです。

「整理」とは、花の他に華や鼻など同じ読み方のグループ、草や若など部首が同じであるグループ等として一緒に覚える方法です。他には、反対の意味の言葉とセットで覚える方法もあります。

「意味づけ」とは、「くさかんむり」は草花に関係のある部首であること。「化」は姿が変わることを表しており、花は、蕾→咲く→散ると姿が変わることから、「くさかんむり」と「化」の2つを合わせると花になること。他にも、「花より団子」など、その漢字を使った言葉で覚える方法等があります。整理や意味づけにより、対象に関するネットワークを作ると効果的に覚えることができるそうです。小学校時代、とにかく書いて覚えていた私は、理解するということの幅広さを知り感銘を受けました。ちなみに、何回も書いて覚えるのが楽に思えるのは、考えを巡らせなくてもできるからで、この方法は対象に関するネットワークができにくいので時間が経つと思いつけないこともあるそうです。あくまで学び方の1つですので、どの方法が優れているという話ではありませんが、この内容に触れた時は新鮮な気持ちでした。

校内でも研修会を行い、教え方の工夫についてを学びを深めている所です。本校の教員も様々な工夫を凝らして授業を行っております。そのことが、子供たちが張り切って学ぶことにつながっています。今年も、子供たちも大人も学びを続け、豊かな人生につながる一年になることを願っています。「分かった！できた！」がいっぱいの南平小学校です。学び続ける子供たちを応援してまいります。